



Taka Ishii Gallery

Photography / Film

5-17-1 2F Roppongi Minato-ku Tokyo #106-0032, Japan

tel 03 5575 5004

fax 03 5575 5016

web www.takaishiigallery.com

email tigpf@takaishiigallery.com

花代「hanayo III」

会期：2017年4月8日（土）－5月13日（土）

会場：タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム

オープニング・レセプション：4月8日（土）18:00－20:00

タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルムは、4月8日（土）から5月13日（土）まで、花代個展「hanayo III」を開催いたします。花代は、自身の日常を幻想的な色彩で切り取る写真やコラージュ、またこれらに音楽・立体表現を加えたインスタレーションや前衛的なパフォーマンスなど、領域横断的な制作を国内外で展開し、独自の表現を追求してきました。タカ・イシイギャラリーで3度目の個展となる本展では、日々のささやかでかけがえのない瞬間を8mmフィルムで象徴的に捉えた映像作品と、粒子の表現が美しい実験的な写真作品を展示します。

芸妓、モデル、女優、歌手、パフォーマー、写真家、アーティスト——花代はその活動の最初期より、ある単一の分野に軸足を置いて活動する既存の作家像としては語ることはできない、多領域における特異な拮据りや連関の中での創作を展開してきました。その総体には「花ワールド」(Jérôme Sans)と評される独自の世界観が通底しており、多文化に触れる中で培われた花代の飽くなき好奇心や瑞々しい感性・直感は、数多くのクリエイターやアーティストとのコラボレーションにも結実しています。

作為をもって世界を美しく描こうとはしないが、美しき世界に棲み続け、身のまわりに彩りを与えることには貪欲だ。(……)常に流動しながら刺激的で奇妙で心地よく可笑しさに満ちた物事へと接近し続ける。驚くほど精力的に素早く。

東谷隆司、2002年「花代」展（於、ギャラリー小柳）に寄せて

そうした花代の作品世界にあって、渡欧以降、長らく中心的位置を占めてきた愛娘・点子が成人し、その創作は新たな局面に入りました。本年2月にMOT Satelliteで発表された、自身のルーツを顧み、そこに立ち現れる繋がりや連鎖に普遍的な表現のかたちをみるインスタレーション作品は、「第三次性徴」と題され、転換への作家の意識を強く反映したものとなりました。こうして点子から「卒業」した花代が、一人の作家、また一人の存在として、生命の辿る経過に思いを馳せ、生に対して微視的な視線を改めて投げかけたのは、ごく自然なことであったように思われます。本展で展示される8mmフィルムで撮影された3分弱の映像には、友人のもとに誕生したばかりの第一子、咀嚼する口や蠢く指、あるいは水面に乱反射する光などが、夢幻的な詩と音楽を背景に親密な視点で収められています。かけがえのない一瞬一瞬を慈しみ、またそこに感じた美しさの体験を分かち合い留めおこうとする花代の映像作品は、ある特定の瞬間を記録しながらも時間や空間・対象といった付随情報を失い、無限と刹那の煌く断片を提示しています。

作家として今一度創作に向き合う態度は、写真というメディアの可能性の再発見というかたちでも表れています。花代が子供時代に祖父の形見として譲り受けて以来、長年愛用しているオリンパスのハーフサイズカメラで撮影した写真は、魅惑的な色のトーンとアナログの繊細なニュアンスに溢れ、また露出過不足やブレ・ボケ、フィルムの傷みや現像ムラなど偶然の所産も取り込みながら、幻想的なイメージを形成してきました。昨今、暗室体験を通じて像を生み出す精緻な過程に触れた花代は、自身の制作において中核的要素であるアナログ写真の粒子の美しさをより際立たせる実験的なプリントを制作しました。その作品群は、ポートレート、日常風景、アブストラク的なイメージなど、初期より一貫して日常の身边を写しているものの、そこに定着されたイメージはより抽象的な印象を帯び、沸き立つような色彩と光の描写が全面に押し出されています。

協力：畠山直哉、手塚眞、南川史門、Leo Pellegatta

クロージング・イベントとして、ヴィジュアルリスト・手塚眞氏をお招きし、トークイベントを行ないます。
皆様のご来場をお待ちしております。

クロージング・イベント「花代×手塚眞」

日時：2017年5月13日（土）15：30 - 17：00 （開場：15：00）

ゲスト：手塚眞氏（ヴィジュアルリスト）

会場：IMA CONCEPT STORE

〒106-0032 東京都港区六本木5-17-1 AXIS ビル3F

参加費：1,000円

事前申込制：定員50名（先着順）

お申込締切：5月11日（木）

お申込方法：E-mail でのお申込みにて受け付けています。

お申込先アドレス：tigpf@takaishiigallery.com

メール件名：【花代クロージング・イベント申込】

本文：

・ご氏名（ふりがな）

・ご連絡先メールアドレス

をご明記のうえ、お送りください。

花代は1970年東京都生まれ。玉川大学文学部美術学科彫刻専攻在学中にパリへ留学、その後1989年に向島で半玉修行を始める。1995年に花柳界を引退し渡英。現在、東京・ベルリンを拠点に、写真家、芸妓、ミュージシャン、モデルとして多方面で活動を展開。自身の日常を幻想的な色彩で切り取る写真やコラージュ、またこれらに音楽や立体表現を加えたインスタレーションを発表。国内外で多数のグループ展・国際展に参加、ライブ・パフォーマンスも行う。主な個展に「ウツシユメクニ」PARCO GALLERY（東京、2000年）、「hanayo」Palais de Tokyo（パリ、2002年）、「ベルリン」タカ・イシイギャラリー京都（京都、2013年）など。主な作品集に『ハナヨメ』新潮社刊（1996年）、『MAGMA』赤々舎刊（2008年）、『berlin』月曜社刊（2013年）、『点子』Case Publishing刊（2016年）など。主な音楽アルバムに「wooden veil」（dekorder、2009年）「Gift / 献上」（DHR Geist、2000年）など。

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願いいたします。

尚、掲載用写真の貸出など、御質問がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム

展覧会・プレス担当：岡村 万里絵

〒106-0032 東京都港区六本木5-17-1 AXISビル2F tel: 03-5575-5004 fax: 03-5575-5016

e-mail: tigpf@takaishiigallery.com website: www.takaishiigallery.com 営業時間：11:00-19:00 定休日：日・月・祝日



Hanayo
“Untitled”, 2017
C-print
Image size: 24.4 x 33.5 cm
Paper size: 27.9 x 35.6 cm
© Hanayo



Hanayo
“Untitled”, 2017
C-print
Image size: 84 x 60.1 cm
Paper size: 90.3 x 68.3 cm
© Hanayo